

10月31日は、各学年で「ハロウィン」にちなんだゲームなどを！



10月31日は「ハロウィン」行事の一環として、各学年でゲームなどをして楽しみました。

ももとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な行事だったようですが、現在は、カボチャの中身をくりぬいて「ジャック・オー・ランタン」を作って飾ったり、子どもたちが魔女やお化けに仮装して、近くの家々を訪れてお菓子をもらったりする楽しい行事になっているようです。

年長組は遊戯室で、はじめに「猛獣狩りゲーム」をしました。



このゲームは、大人数から少人数のグループを作っていき、子ども達の大好きなゲームです。先生が適当にオバケの名前を呼びます。子ども達は、そのオバケの字数と同じ人数のグループをその場でぱっと作ります。グループに入れるよう懸命に仲間作りをする子ども達。動きがあるので大盛り上がりでした。



次に、「新聞紙を使ったジャンケンゲーム」をしました。各組男女一列ずつに並び対決しました。新聞紙の上に立ち、相手とジャンケンをします。負けると新聞紙を半分に折り、また始めます。祖父母参観時に、おじいちゃん・おばあちゃんと一度やっているのので、スムーズに行うことができました。

年中組は、先週の金曜日（25日＝大雨の日）に先取りをして行いました。初めに年長組と同じように「猛獣狩りゲーム」をしました。



次に、新聞紙を使っての「リレー対決」です。クラス2チームずつの計4チームで競い合いました。新聞紙を胸やお腹付近に着け、走り始めたら手を離し「新聞紙を落とさないで次の人に渡す」というゲームです。風圧で落ちないようにするのは大変です。それでも一生懸命に取り組み大盛り上がりでした。最後は、リレーで使った新聞紙を丸めてオレンジ



色のポリ袋に入れ、マジックを使って「ジャック・オー・ランタン」を作りました。

年少組では、初めに先生から「ハロウィンの由来」などについてのお話を聞きました。次に、自分たちで作った「ミッキーとミニー」のカボチャのバックを持って、「トリックオアトリート」と言いながら、お友だちとドングリで作ったキャンディーや段ボール紙で作ったビスケットを交換するというゲームをしました。「トリックオアトリート」とは「お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ。」という意味で、アメリカの子ども達がお菓子をもらうため各家を



回るときに使う言葉だそうです。次に「ハロウィンクイズ」をしました。「オレンジ色の野菜は？」「骨だけの怪物は？」「ハロウィンの日に飲むのは何の果物を使ったジュースか？」などです。最後は、各自が持ってきたおやつを、大きなお皿に盛り、みんなで楽しく食べました。

【写真】(一番上～3段目)年長組の活動の様子。先生方の仮装が凄すぎて、本当に怖がる子も。先生方の気合いを感じました。(4・5段目)年中組の様子。ポリ袋を使って作った「ジャック・オー・ランタン」、スゴイですね。(6段目～)仕種が本当に可愛い。行事をするたびに、ちょっとずつ成長する年少さん。スゴイです！

